



# YMCA

月刊 The YMCA 付録  
編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地  
大阪青年 発行: 末岡祥弘 編集: 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6  
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

## 大阪青年

2009 Mar. 3

No. 614

2008年度 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、  
他人のことにも注意を払いなさい。」  
(フィリピの信徒への手紙 2章4節)

### 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組む、平和で公正な世界をめざします。

# メンバーのためのリーダーに



## サーバント・リーダーシップ

南YMCA館長 魚住 秀雄 (うおずみ ひでお)

昨年の終盤から100年に一度といわれる経済危機が世界を襲い、将来への展望が非常に見えにくい社会となっております。日本国内では、不況に伴う景気の悪化、雇用不安、また社会保障や環境問題などにおいて、社会全体がネガティブな意識に覆われています。

混沌とした状況の中で、諸問題を打開し、次の時代へと向かっていくため、あらゆる場所、場面において、様々なリーダーシップが求められています。

ただ、リーダーシップはトップにのみ求められるものではありません。トップリーダーシップは非常に重要なのですが、ただそれだけではどのような組織もうまく機能しません。それぞれが、それぞれの立場・役割において、共に活動をする仲間がリーダーシップを発揮し、そのことで組織、ひいては社会がより良き方向へ進

んでいくことになるのではないのでしょうか。ですから状況によっては、リーダーと構成員の立場が入れ替わることは十分にありえることなのです。

大阪YMCAは「大阪YMCAの使命」および「大阪YMCA VISION2010」において、私たちのミッションを示し、ビジョンを明らかにして21世紀における我々が進むべき方向と役割を表明しました。

大阪YMCAはレイリーダー、協力会員、ユースリーダーなど数多くのボランティアとプロフェッショナルスタッフにより、YMCAの諸活動を推進しています。それぞれに与えられた役割を理解し、それを果たすことで使命の実現に一步でも近づいていくのです。

いま、新しいリーダーシップのあり方として「サーバント・リーダーシップ」が注目されています。

サーバント・リーダーシップとは、大きなビジョン実現のために邁進している人たちに對して支援するリーダーのあり方で、組織が目指す使命に向かって邁進しているのであれば、リーダーはサーバント(奉仕する人)となつて構成員に尽くすべきであり、「リーダーのために構成員がいる」のではなく、「構成員のためにリーダーがいる」と考えるものです。そこでのリーダーシップのために最も重要な構成要素は「誠実さ」であり、リーダーはミッションにコミットし、構成員に信頼されることが不可欠とされています。

これはYMCAのみならず、これからの社会のあり方にも非常に示唆に富んだものと言えるでしょう。  
大阪YMCAは、新しいリーダーシップの養成を行い、私たちの願いである「すべての人々が希望を持って共に生きる社会」の実現を目指していきます。

### 地の塩

▼アメリカのサブプライムローンに端を発した金融危機が100年に一度といわれる世界経済の不況を巻き起こしました。

日本でも多くの高齢者や外国人を含む非正規労働者の人たちが、いきなり職を失い、中には住むところまでもなくしてしまいました。経済成長の手段として低賃金で雇用されていた人たちは、不況になると、いとも簡単に解雇されてしまいました。外国人労働者は職を失うと滞在が許されず帰国するしかないようです。市場原理主義が弱肉強食の姿を露見し、弱い人々を切り捨てて強者は生き残ろうとしています▼パレスチナ自治区ガザ地区では、イスラエルとハマスの闘いにおいて、イスラエル軍による空爆で多くの無防備の人々の命が奪われ続けており、その中には学校で勉強していた多くの子どもたちまでも含まれています▼そのほかにも、いとも簡単に「人の生命」と「人権」が踏みこじられる事件が毎日のように新聞紙上を賑わせています▼昨年11月に持たれましたYMCA/YWCA合同祈禱週は「自由と平等に生まれて―神に祝福された人権―」をテーマに、「人の生命」と「人権」についてこの一年、共に考え祈ることが宣言されました▼「人の生命」と「人権」がいとも簡単に踏みこじられる今こそ、私たち大阪YMCAは神様から与えられた「生命を尊重する心を養い」、「環境、人権、貧困の課題に取り組む、平和で公正な世界をめざす」という使命を、希望を持って果たしていくことが求められているのではないのでしょうか。(啓)